

鉾じゃん展

野性爆弾くっさー！さんの「鉾じゃん展」に行ってきました☆

鉾ジャンとは、1970年代後半のロンドンパンクから派生し、1980年代のハードコアパンクで全盛を迎えた、カスタマイズ・ライダーズのことです。

市販のライダーズジャケットに鉾を打ち込み、絵を描いたり、ワッペンやバッジ、ピンなどを取り付け、自分だけの個性を表現するファッションアイテムです。

今回の展示では、くっさー！さんが10代の頃から、すべて手作業で制作してきた数々の鉾ジャンが披露されていました。

圧倒されたのは、立体的なライダーズに無数の鉾が美しく整列して打ち込まれている、その圧巻の技術力。

一つひとつ手作業で仕上げられた作品からは、まさに職人技を感じました。

ライダーズに描かれたアートも、くっさー！さんらしい独特の世界観にあふれ、とても魅力的でした。手作業だからこそ生まれる繊細さと荒々しさが同時に感じられ、機械では決して再現できない温度や力強さがありました。

細部までこだわり抜かれた緻密な部分と、勢いのまま描かれたような大胆な部分。その相反する魅力が、一つのライダーズの中に共存していて、まさに「着るアート作品」

ちなみに、ワッペンを貼る際はM3の接着剤が一番良いそうです☆

背中にたくさんのトゲを背負う鉾ジャン。それは単なるファッションではなく、当時、社会の中で立場の弱かった若者たちが、自分自身を守り、存在を主張するための「鎧」のようなものだったのかもしれない。

そんな歴史や背景を知ると、鉾ジャンの持つ力強さや美しさが、さらに深く感じられました。

